

代表者名	黒田 信行	所管部課名	産業経済労働部労働政策課
所在地	大館市字中城 2 0 番地	設立年月日	平成7年2月16日

【沿革及び県の出捐理由】

大館矢立ハイツは、雇用促進事業団が昭和55年に建設し、県が管理運営受託してきたが、平成7年に県から大館市へ再委託した。
市では受託にあたり、新たに財団法人を設立し、当該財団へ再委託したが、財団法人の設立にあたり公益的要素が高いことから県・市が出捐している。

【出捐者】(17年度当初)

(千円、%)

区分	団体数	出捐額	構成比
秋田県	1	10,000	33.3
市町村	1	20,000	66.7
その他			0.0
計	2	30,000	100.0

【事業】

主たる業務

大館矢立ハイツの管理運営の受託
大館地域職業訓練センターの管理運営の受託
大館勤労者総合福祉センターの管理運営の受託

事業実績

(人)

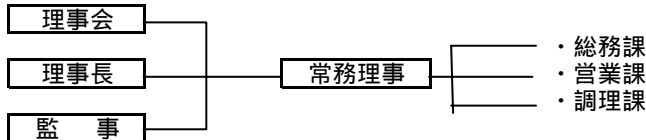
事業名等	14年度	15年度	16年度
宿泊者数	9,674	8,960	8,596
休憩等利用者数	112,575	107,573	94,847

16年度事業概要及び17年度事業計画・目標

16年度：11月発生 of 温泉ポンプ落下事故による温泉休止の影響等により、目標を達せず赤字となった。
17年度計画・目標：収入221,352千円、支出220,400千円
宿泊宴会9,500人、その他入浴等利用者130,000人

【組織】

運営機構



役員数

(人)

	理 事	監 事
常勤		
内、県OB		
非常勤	11	2
内、県OB		
内、県職員		
計	11	2
内、県関係者	0	0

職員数

(人)

	人数	平均年齢	平均勤続年数
正職員	14	40.4歳	8.4年
内、県OB			
出向職員			
内、県職員			
臨時・嘱託	14		
内、県OB			
計	28		
内、県関係者	0		

【財務】

損益状況(16年度)

(千円)

	金額
経常収入 A	206,866
受託事業収入	23,808
補助金収入	4,934
自主事業収入	175,670
運用益収入	25
その他	2,429
経常支出 B	211,949
人件費	88,073
その他	123,876
経常損益 C = A - B	-5,083
経常外収入	1,460
経常外支出	
当期損益	-3,623

(百万円)

県の損失補償額	県の債務保証額

財務状況(16年度末)

(千円、%)

	金額	構成比
流動資産	17,636	31.1
固定資産	39,113	68.9
資産計	56,749	100.0
流動負債	11,555	20.4
短期借入金	0	0.0
固定負債	12,000	21.1
長期借入金	12,000	21.1
引当金等	0	0.0
負債計	23,555	41.5
基本金	30,000	52.9
剰余金	3,194	5.6
資本計	33,194	58.5
負債・資本計	56,749	100.0

(千円 %)

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
		中小企業退職金 共済制度利用	100.0%

【県の財政支出】

(千円)

	14年度	15年度	16年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	14年度	15年度	16年度	14-15増減	15-16増減
健全性	自己資本比率	%	53.01	57.97	58.49	4.96	0.52
	借入金依存率	%	20.02	20.47	21.15	0.45	0.68
	流動比率	%	148.21	168.77	152.64	20.56	16.14
収益性	剰余金(欠損金)	千円	7,060	6,817	3,194	243	3,623
	経常利益率	%	0.20	0.50	2.46	0.71	1.95
	総資本利益率	%	0.75	1.81	8.96	2.56	7.14
発展性	経常収入額	千円	256,474	228,974	206,866	27,500	22,108
効率性	総資本回転率		3.67	3.61	3.65	0.06	0.04
	職員1人当たり経常収入	千円	10,259	7,896	7,388	2,363	508
	人件費比率	%	41.59	42.24	42.57	0.65	0.33

2 経営目標の達成状況

経営目標			13年度	14年度	15年度	16年度
経営改善指標	目標					
	実績					
事業成果指標	目標					
	実績					

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

本財団の主要事業である大館矢立ハイツの運営において、平成16年11月に発生した温泉ポンプ落下事故による温泉休止が1ヶ月間に及んだほか、施設の譲渡問題に関する誤った風評や近隣類似施設のオープンの影響等により、目標の宿泊宴会9,800人に対し8,596人、日帰り宴会8,300人に対し7,864人、休憩利用120,000人に対し107,573人といずれも及ばず、またハイツの収支も5年ぶりに単年度赤字を計上する厳しい状況となった。
 なお、大館市が17年度に施設を購入し、市の施設として運営が継続されることとなり、これまで以上に、職員一丸となった経営努力を積み重ねてまいりたい。

4 総合評価

概ね安定した経営内容	一層の努力を要する経営内容